

2024年度事業計画

2024年1月1日から、2024年12月31日まで

「江戸城全体整備構想の策定並びに歴史文化資源等を活かした観光まちづくり」

世界が憧れる都市東京を目指し、我が国の文化・芸術の振興に並び歴史文化資源を活かした観光まちづくりの形成・発展に寄与することを目的として、広く一般社会に対し会報誌やホームページを通して普及・啓発・提言活動を行う。

2024年度は江戸城全体整備計画の策定を目指す「準備委員会」を設置して取り組むと同時に公益認定の取得を目指していく。

1. 公益認定の取得を目指す

江戸城全体整備計画の策定に向けて、江戸城に関わる文化芸術及び観光振興をより公益事業として明確化するために、認定取得に向けた取り組みを進めていく。

これにより、寄付優遇税制も得て多くの個人、篤志家、法人や団体の皆様の参加の機会を提供すると共に会員や寄付金を募り、調査研究費用に充当する。

II. 調査・研究活動

1. 準備プロジェクトを設置

- ・目的：江戸城全体整備計画の策定する調査研究委員会の設置に向けて、準備プロジェクトを設置し、諮問内容及び委員会設置等の概要を作成する。
- ・参考資料：江戸東京歴史文化回廊・調査研究報告書、会報誌等)
- ・メンバー：財団役員及び有識者等
- ・場 所：財団事務局等
- ・開催月とテーマ：6月—これまでの取組とその経緯
8月—課題の抽出及び優先順位
10月—課題とステージ
12月諮問内容、委員会規程等の概要の作成
- ・費用：管理費で対応

2. 歴史文化資源プラットフォーム

江戸城全体整備構想と表裏一体にある有形無形の歴史文化資源やそれらに関与する人々や多様な主体の関与を求めて社会関心の醸成を図る。現在、600近くの歴史建造物・文化財から抜粋してホームページに掲載してきた。コロナ禍の中、数年、活動は停滞した。

歴史的建造物を軸に史跡、祭り、年中行事、伝統文化、芸能、水辺の賑わい等の多様な文化資源を時空間的かつ一元的にアナログやデジタルで整理ができるよう、順次、情報収集を行なう。

Ⅲ. 普及・啓発、提言活動

1. 普及・啓発活動

会員、市民と有識者、まちづくり、関係機関との普及・啓発・提言活動の全体像は、コミュニケーションやセミナーを軸にした活動を進め、会報誌やホームページを通し広く社会一般に公開する。

1) 有識者の講演・セミナー（オンラインセミナー）

江戸城総構え、建造物、御殿の意匠等、江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくりの観点からテーマを選定し、次の通り開催する。

開催にあたり通年をとおして

- ・場所（通年）：日比谷図書文化館（予定）、オンライン（ユウチュウブ、ZOOM）
- ・対象者と参加費（全会）：会員及び一般市民 参加費 2000 円程度、市民、学生等無償先着 7 名迄
- ・開催内容の詳細はホームページに掲載

1. 5月：江戸城全体を俯瞰する
2. 6月：皇居東御苑 天守台・石垣の建築とその経緯
3. 7月：本丸御殿の意匠
4. 9月：川越のまちづくりから、総構え江戸城を展望する
5. 10月：江戸の街の賑わい・絵巻 稀代照覧
6. 11月：江戸と加賀の往来文化・江戸三度

2) 会報誌等発刊（年3回前後）及びホームページへの掲載

江戸城全体整備構想に関連するセミナーのテーマから選定する

本年度の特別企画は、新会長及び新理事長の就任に伴い、「よみがえれ 江戸城」をテーマに、これ迄の歩みから現在へ、そして、近未来を展望する二人の対談形式とする、

2. 提言活動

関連する行政及び民間への提言及びコミュニケーション活動にとりくむ

東京都に対して、文化財保護法の中核である「大綱」の策定について、引き続き、提言活動を行う。また、文化財保護法の主管か所である文化庁に対しては、「東京都に対し、「大綱」を速やかに策定するよう改めて提言活動を行う。

引き続き、関連する行政及び民間へのコミュニケーションや提言活動を推進する。

以上